

トピックス

伝統の技と最新鋭の織機が一堂に会す
 本社・市原事業所

～ 川島織物セルコン ～



緞帳生産風景

京都 洛北に位置する本社・市原事業所。織物生産には水が欠かせないと、水のきれいな川の側で、かつ広大な土地が入手できるこの地に当時の経営者が工場建設を決意、昭和 39 年に竣工した。地下化された電線、冷暖房完備の工場、白で統一された外観は、当時、大変モダンだったという。

当事業所は、当社の中核施設のひとつであり、帯・緞帳などを生産する「手織り工場」、カーテンを生産する「量産機械織工場」、当社の歴史やモノづくりの心を社内外に発信するミュージアム機能「織物文化館」、老若男女が織物を学ぶ学校施設「川島テキスタイルスクール」からなる。

このように様々な機能が一カ所に集結している企業施設は珍しく、年間約 4,000 名以上の方にご見学いただき、好評を博している。見学者からは、“伝統の技と最新鋭織機の生産現場が同じところにあるギャップが興味深い”といった声が聞かれる。特に収集した染織品や文献・資料、創業以来の自社製作品にまつわる資料や試織など、十数万点の収蔵品を所有する織物文化館や、日本最大級の織機も有す緞帳製作過程は見ごたえ十分との感想を良くいただいている。（※現在、一般公開はしていません）